若手職員が活躍する事業現場の紹介

オホーツク総合振興局網走建設管理部事業室事業課
「知床公園線落石対策事業」

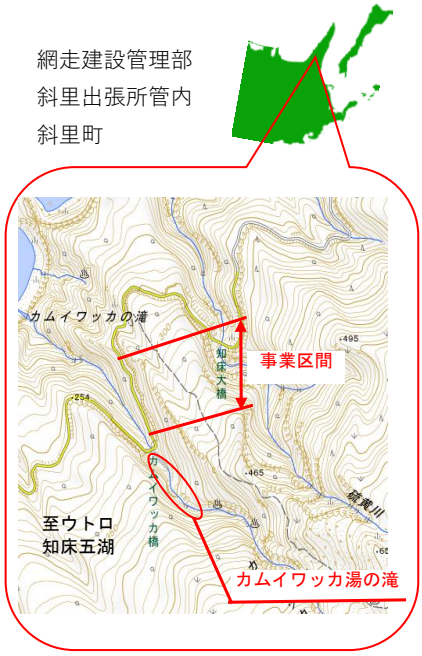
・事業目的

本路線は、平成17年に登録された知床世界自然遺産に位置し、知床大橋を起点とし、国道334号線を終点とする全長19.9kmの主要道道である。路線周辺にはカムイワッカ湯の滝や知床五湖、硫黄山登山口があることから、大型バスの往来が多く、毎年、国内外から多くの観光客に利用されています。

当該区間は、防災点検において落石の危険があることが判明し、通行止めを余儀なくされていることから、早期の対策が求められています。

また、世界自然遺産に指定されている範囲であることから、大きな自然改変が認められないため、景観等を考慮した工法を選定しています。

網走建設管理部
斜里出張所管内
斜里町



・事業計画

全体延長	L＝600m	幅員	W＝4.0m
事業期間	R2～R9	交通区分	未舗装（砂利道）
構造種別	3種5級	現況交通量	約1,600台／日
設計速度	20km／h		（R3一般交通量調査より）

・事業内容

不安定転石除去　N=104個　ロープ掛工　N=97個
リングネットエ　L=450m　ロープ伏工　A=3,554m2

▲リングネットエ　完成写真

▲ロープ掛工　完成写真

・仕事での大変なこと

当該現場は世界自然遺産に指定されている範囲内にあります。そのため、落石対策にあたっては、生態系に影響を与えないよう考慮したロープ掛工を採用し工事を行っています。

また、環境省など関係機関との協議が多いことから、計画的に協議を行い、円滑に工事を進めるようにしています。

この事業は、現場条件による変更要素が大きいことから予算管理が重要となり、発注者としてどこまで工事を進めるか判断することに大きな魅力を感じています。

入庁3年目
技師　鶴田　将也

・プライベート

オホーツク総合振興局管内は自然が豊かで景色がきれいなところが多く、気分転換をするためによく車を走らせています。

また、建設部と建設管理部では夏には野球、冬にはアイスホッケーをやっています。野球もアイスホッケーも競技経験がありませんでしたが、楽しんでいます。

野球

アイスホッケー

サーモン駅伝